

(2) 2015年(平成27年)4月1日

情報や価値を正しく伝えていない 消費者と同じ目線で透明性の高い流通環境を JGSワークショップ



し、宝飾業界では「お客様に宝石の情報・価値を正しく伝えていない。また客観性を持って正しく伝えられないことが、一般消費者から信頼を得られ



正しい情報の提供を
呼びかける伊藤理事長(左
会場(上))

ない要因のひとつと考える」とした。そして、「販売業者ですら正しく把握できていない情報を、実際に宝石を手に取り観察することにより真実の姿を把握し、目利きとなっていた場で提供する」と話した。

今後においては、同様のワークショップを一般消費者に開放し、販売業者と一般消費者が同じ目線で宝石を捉えられるようになることで、より透明性の高い流通環境が構築できるのではないかとしている。

講座では、JGS監事の諏訪恭一氏が「宝石の見方」について解説。その後はグループに分かれ、実際に宝石を手にとっての実習を行い、充実した時間を過ごした。第2回は4月15日に開催される。定員は16名。

一般社団法人日本宝石協会(JGS。伊藤彰理事長)は、3月26日、東京スクエアガーデンで、「宝石品質講座-ルビー-」を開催した。

伊藤理事長は冒頭の挨拶で「宝石の真の姿を過不足なく正しく、自信を持って消費者に伝えることが、宝石のプロとしてお客様に信頼され、販売する宝石の価値と販売する人々の価値を高めることにつながると考えている」と